

目次

1. 安全上のご注意（必ずお読みください）	03
2. 【重要】LiPoバッテリーについて	04
3. 同梱品一覧	07
4. 各部名称	08
5. 操作モード切替	12
6. フライトの準備	13
7. フライトを始める	18
8. 送信機機能の紹介	22
9. Wi-Fiカメラの使い方	27
10. アプリ機能紹介	28
11. 機体LEDの状態変化説明	35
12. 製品基本情報について	36
13. よくある質問	38
14. 製品サポートについて	39
15. メーカー情報	40

Holy Stoneストア、ユーチューブ、フェイスブック、LINE友達追加は以下よりご参照ください。



Holy Stoneストア : www.holystone.com



Facebook :
<https://www.facebook.com/HolyStoneToys/>



LINE ベーシックID:@842plfqb



YouTube:<http://bit.ly/2tUE38L>

安全上のご注意 (必ずお読みください)

⚠ 警告

保護者の方へ

当製品に使用されている小さな部品は誤飲・窒息の危険があります。3歳未満のお子様に手を触れさせないようにご注意ください。

⚠ 注意

ここに記載されている注意事項は、本製品を安全にお使い頂き、損害や危害を未然に防ぐためのものです。必ずお読みください。

1. GPS機能の利用について

★本製品はGPS (グローバル・ポジショニング・システム) 搭載の屋外専用機ですが、全ての環境/フライトにおいて、GPS信号の捕捉や、信号強度、自動帰還をお約束するものではありません。常にGPS信号をロストする可能性を考慮し、緊急時にはご自身の手動操作で戻せる目視範囲内でのみフライトしてください。

2. フライトについて

★製品をご利用の前に、国土交通省が定めたガイドラインを参照し、ご自身が利用する環境と照らし合せ、問題がない事を確認してから製品をご利用ください。

★【無人航空機 (ドローン、ラジコン機など) の安全な飛行のためのガイドライン】<http://www.mlit.go.jp/common/001228024.pdf>

★当製品は屋外でのフライトを推奨します。ただし、屋外では風の影響が強く正常にフライトできない恐れがあります。風のない日での操作をお勧めします。

★屋外のフライトでは高压線・公共施設・空港・道路・線路が近くにある場所、及び周りに人がいる場所、建物がある場所で絶対にフライトさせないでください。

★電波障害に気をつけてください。ほかの電波使用機器からの影響により、ラジコン用の電波が干渉を受ける場合があります。物理的にも電波的にも障害となるものが無い、見晴らしの良い広いエリアが理想的です。万が一の突発的に起こる電波障害を考慮し、常にあらゆるリスクに備えてください。

★プライバシー確保へご配慮ください。本製品にはカメラが搭載されています。録画/撮影した映像の対象によってはプライバシーの侵害となる恐れがあります。事前に周囲をよく確認していただき、プライバシー確保へご配慮ください。

★プロペラには向きがあります。交換する際は説明書をご参照になって正しく取り付けてください。正しく取り付けないと正常に飛行できません。

3. 怪我にご注意ください

★当製品は16歳未満のお子様には使用させないでください。また、お子様の手の届く場所に保管しないでください。

★対象年齢未満のお子様がいるところで使用しないでください。

★プロペラは高速回転しますので、大変危険です。飛行中は人の顔や手に接触しないよう十分注意して安全に飛行させてください。特に目に接触すると失明の恐れがあります。

★水や火の中に入れてたり、分解しないでください。

【重要】LiPoバッテリーについて

本製品にはLiPoバッテリーが採用されています。安全に使い続けるためには適切な状態を保ち、特性上のリスクを考慮して使う必要があります。以下の注意事項を守り、正しくご利用ください。

1. 使い方

★アプリに表示される機体バッテリー残量を常に意識し、安全のため30%以下になりましたら、すぐに帰還させてください。

★バッテリーに変形や匂いなどの異常を見つけた場合は絶対に使用せず、廃棄してください。

★バッテリーは絶対に分解、改造しないでください。

★機体で使用する状態でのみ放電してください。それ以外の放電はしないでください。

★当製品は飛行機用充電式バッテリーであり、ほかの用途には使用できません。

★過放電してしまった場合はご使用頂くことができません。放電し過ぎないようにご注意ください。また、軽い過放電を繰り返した場合もバッテリーが次第に傷んでいき、充電・放電時間が極端に短くなり、使用できなくなります。

★バッテリーは消耗品です。交換・返品は致しかねます。

2. 充電時の注意

★必ず付属したUSBケーブルまたは専用充電器（別売り）を使い、充電中はその場から離さず、異常事態に備えてください。

★万一充電中にバッテリーが異常に過熱した場合には、絶対にバッテリーに触れず、USBケーブルを外して充電を中止してください。そして、温度が下がるまでバッテリーを安全な場所で保管して下さい。

★リチウムポリマー電池にはメモリ効果がないため、放電無しで追加充電が可能です。

★バッテリーにUSBケーブルを差したまま放置すると過放電となり、使用できなくなる恐れがあります。速やかにバッテリーからUSBケーブルを抜いてください。

3. フライト中の注意

★墜落・衝突などした際、バッテリーが強い衝撃を受けると膨張したり発火する恐れがあります。可燃物を避けた場所でしばらく放置して、異常のないことを確認してください。

4. 電池を保管・保存する場合の注意

★バッテリーの保管可能温度は5℃~40℃前後です。性能の劣化を防ぐには25℃前後が最適です。

★自動車内や室内の窓際など、直射日光の当たる場所に放置するとバッテリーが高温となり、自然発火する恐れがあります。そのような場所での保管はお止めください。

★2週間以上ご使用頂かずに保管する場合は満充電後3分程度フライトさせ、バッテリー容量が50%~70%程度になってから保管するようにしてください。

5. バッテリーの運搬・廃棄

★バッテリーの運搬中は電池表面に力が掛からないようにケースに入れて運搬してください。







★バッテリーを廃棄する場合には、一晚塩水につけて中和してから破棄してください。

★絶対に火の中に投げ入れないでください。爆発します。

★廃棄方法は各自で地方自治体に問い合わせるか、リサイクルを行っている販売店様にご確認ください。

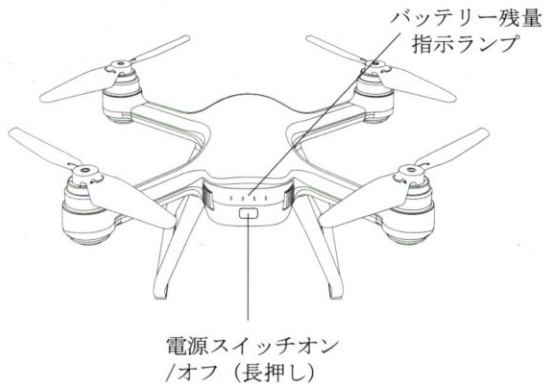
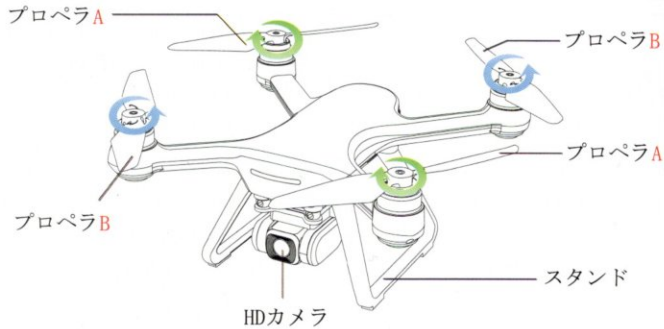
同梱品一覧

ご使用の前に以下の物が揃っているかご確認ください。

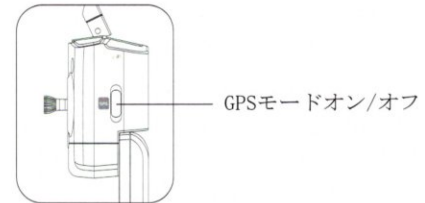
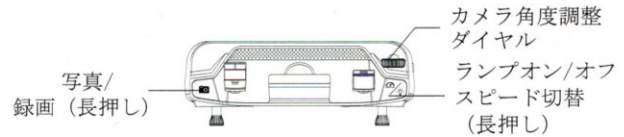
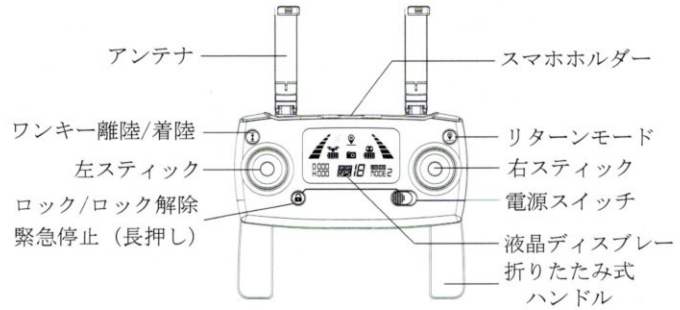
 ×1	 ×1	 ×1
本体	送信機	予備の バッテリー
 ×8	 ×1	 ×1
プロペラ	予備の USB充電ケーブル	取り扱い説明書

各部名称

1. ドローン



2. 送信機



2. 1GPSモードオン/オフ

送信機の電源を入れて、デフォルトモードはGPSモードで、液晶ディスプレイには と表示します。GPSモードボタンをスライドすると、GPSモードをオフにします。液晶ディスプレイに と表示します。

2. 2リターンモード

送信機のリターンモードボタンを押すと、送信機から「ピッ」と鳴り、機体はスマートリターンモードに移行し、最初記録された場所に戻ります。もう一度そのボタンを押すと、リターンモードが停止します。その時、送信機で機体を操作することができます。

2. 3緊急停止

ボタンを長押し(3秒ほど)すると、機体は緊急停止できます。

注意：緊急事態にのみ利用してください。プロペラが停止し、機体が墜落しますので下に人がいないか十分に注意してください。

2. 4写真/録画

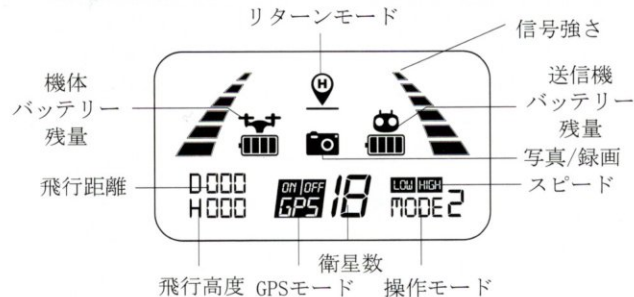
①写真：送信機の写真/録画ボタンを一回押すと、液晶ディスプレイの アイコンが一回点滅し、写真が撮影完了します。

②録画：送信機の写真/録画ボタンを長押しすると、液晶ディスプレイの アイコンが点滅し、録画が始まります。もう一度そのボタンを長押しすると、録画が終了になります。

2. 5スピード切替

ボタンを長押しすると、液晶ディスプレイの **LOW** アイコンが表示し、送信機は「ピッ」と1度鳴り、低速モードに移行します。もう一度切替ボタンを長押しすると、液晶ディスプレイの **HIGH** アイコンが表示し、送信機は「ピッ、ピッ」と2度鳴り、高速モードに移行します。フライト環境と操縦能力によって、適切なスピードをお選びください。

3. 液晶ディスプレイ



4. 低電圧アラーム

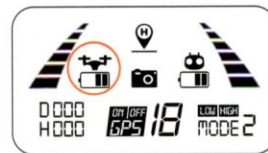


図1

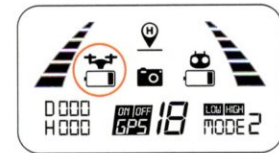


図2

1. 液晶ディスプレイあるいはアプリに のアイコン (図1) が表示されると、加えて、機体前のLEDが点灯、後ろのLEDがゆっくり点滅になり、機体バッテリーの残量がもうすぐ少ないと示します。

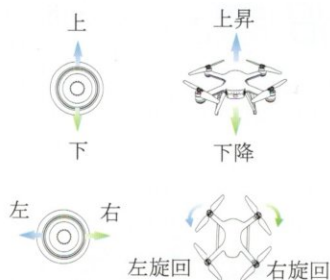
2. 液晶ディスプレイあるいはアプリに のアイコン (図2) が表示されると、加えて機体前のLEDが点灯、後ろのLEDが速く点滅になり、機体バッテリーの残量が不足と示します。

操作モード切替

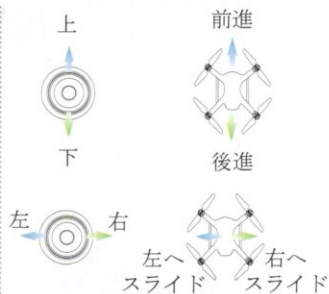
デフォルトモードは前回の操作モードなので、送信機の ボタンを押したまま、電源を入れます。送信機の ボタンを長押し（3秒ほど）すると、モード1/2に切り替わることができます。

1. モード2

左スティック

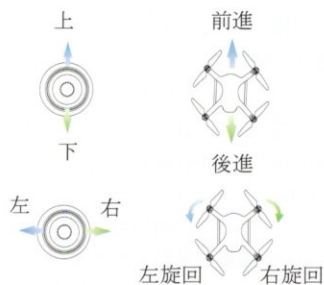


右スティック

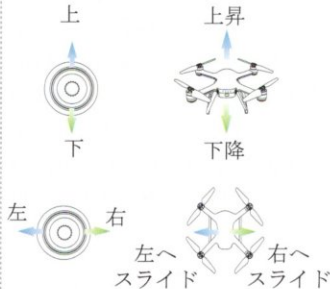


2. モード1

左スティック



右スティック

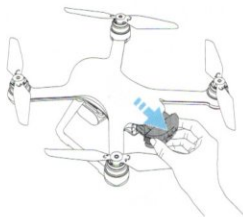


フライトの準備

1. 機体バッテリーの交換方法

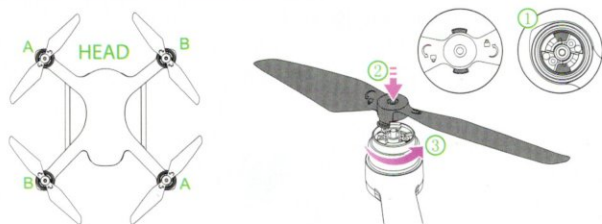


①バッテリーを図の通りに機体に装着します。「カチッ」と鳴ると、装着完了となります。



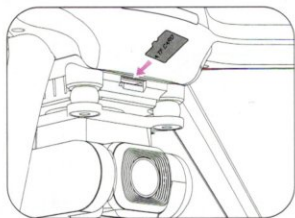
②上図の通り、バッテリーの両側の部分を押しのまま、バッテリーを外へ取り外します。

2. プロペラの交換方法



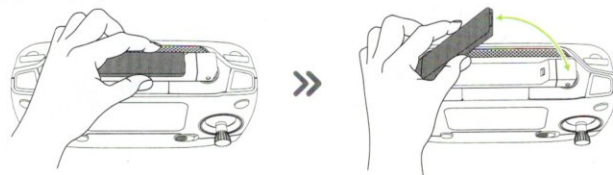
①ボディとプロペラに刻印されている「A」、「B」を合わせます。次に、プロペラの「ロック」アイコンに従ってプロペラを回し締めます。

3. マイクロSDカード（別売り）を装着する



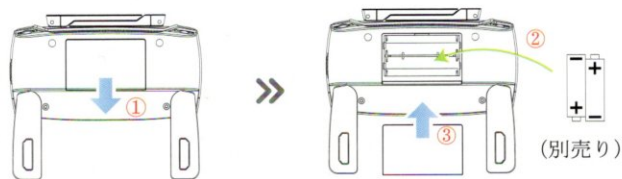
上図の通り、マイクロSDカード（別売り）を機体側のカードスロットに装着します。

4. アンテナ



上図の通り、アンテナを開けます。

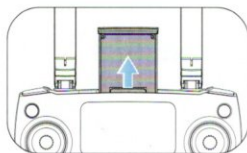
5. 送信機にバッテリーをセットする



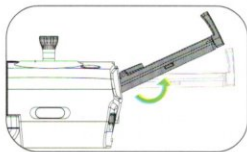
- ①折畳み式ハンドルを開いて、バッテリーカバーを取り外します。
- ②単三乾電池*2本を正しい向きでセットします。
- ③バッテリーカバーを閉めます。

6. スマホホルダー

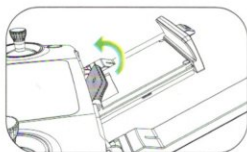
①図の通り、スマホホルダーを矢印方向へ開きます。



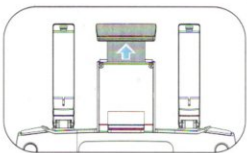
②図の通り、スマホホルダーを矢印方向へ30° 旋回します。



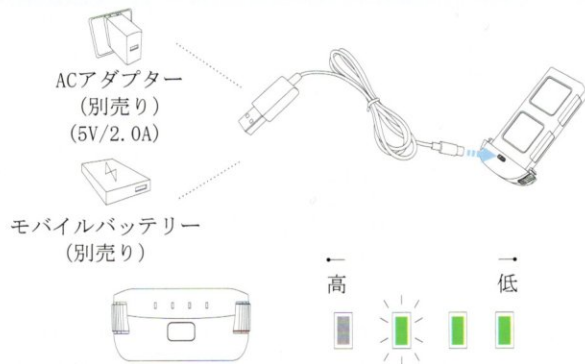
③図の通り、ロック板を矢印方向へ開きます。



④ホルダー部を上下にスライドすることで、お使いのスマホの幅に調整できます。



7. バッテリーの充電方法



- ①図の通り、バッテリーをUSB充電ケーブルに装着します。
- ②USB充電ケーブルのもう一方の端子をACアダプター/モバイルバッテリーに接続します。
- ③バッテリー側の緑LEDが速く点滅すると、充電は始まります。
- ④バッテリー側の四つの緑LEDが点灯すると、充電は完了です。
- ⑤充電時間は約5H。

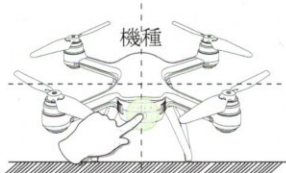
フライトを始める


モード2を例として

1. ペアリング

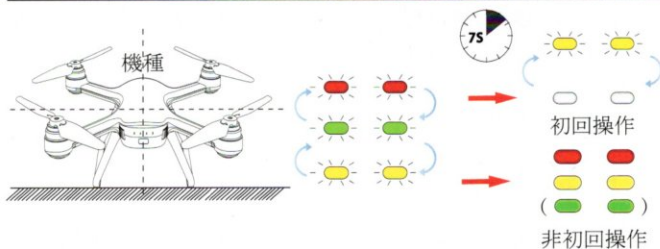


単三乾電池を送信機に装着します。送信機のロック解除ボタンを押したまま、電源スイッチを右へスライドします。送信機は機体とのペアリング待ち状態になります。




バッテリーを機体に装着後、まず、下のアームを開きます。次に上のアームを開き、電源スイッチを押すと、機体の電源が入ります。次に機体を平らなところに置いてください。送信機が「ビッ」と長く鳴り、液晶ディスプレイに送信機の信号アイコン「」が満タンになると、機体とのペアリングが成功となります。

2. 機体の初期検査



ペアリング成功後、機体は初期検査を行います。その際、飛行機の前後の赤、緑、黄LEDが交互に点滅し、約7秒ほどで初期検査が完了します。完了の状態について、2種類があります。

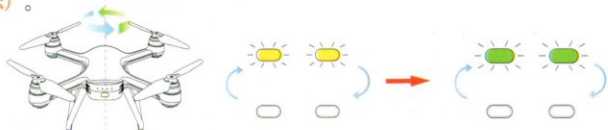
1. 初回操作の場合、完了すると、送信機は「ビッ、ビッ」と鳴り、液晶ディスプレイに「」アイコンがゆっくり点滅し、機体の前黄LEDが交互に点滅し、コンパスリセットモードに移行します。
2. もし初回操作ではない場合、完了すると、送信機は「ビッ、ビッ」と鳴り、機首の赤LEDと機尾の黄LEDが点灯します。（もし衛星7個以上の場合、機首の赤LEDと機尾の緑LEDが点灯します。）

3. コンパスリセット

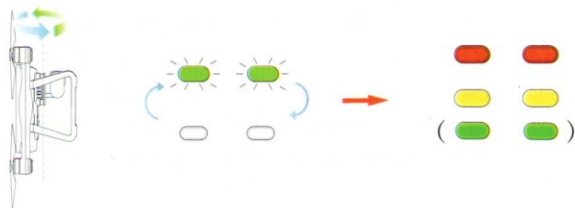
まず、左スティックと右スティックを同時に右下に押し、機体の前黄LEDが交互に点滅し、機体はコンパスリセットモードに移行します。



次に、平な場所に置いたドローンを下図の通りに360°回転させます。機体の前後緑LEDが交互に点滅したら、回転を中止します（三回転）。



その後、機首を上に向くようにドローンを垂直に持ったまま、そして、ドローンを下図の通りに360°回転させます。機首の赤LEDと機尾の黄LEDが点灯し、加えて、液晶ディスプレイに「✖」アイコンが消えて、回転を中止します（三回転）。そのとき、コンパスリセット完了となります。



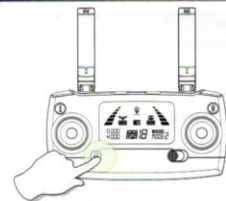
注意：

1. もし衛星7個以上の場合、コンパスリセット完了すると、機首の赤LEDと機尾の緑LEDが点灯します。
2. 機体を回転するとき、同じ平面で行ってください。

4. ロック/ロック解除

①ロック解除方法

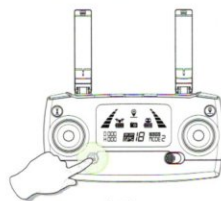
離陸する前、ロック解除が必要あります。送信機のロック解除ボタンを押すと、機体のプロペラが低速で回り始めます。



②ロック方法

方法一：ロック解除ボタンを3秒ほど長押しすると、機体のプロペラが回転中止し、機体をロックします。

方法二：機体が着陸したあと、左スティックを一番下に倒したまま、3秒ほど経つと、機体のプロペラが回転中止し、機体をロックします。



方法一



方法二

5. ワンキー離陸/着陸

①ロック解除後、ワンキー離陸/着陸ボタンを押すと、機体は1~1.5mほどの高度に上昇します。

②フライト中、ワンキー離陸/着陸ボタンを押すと、機体は着陸します。

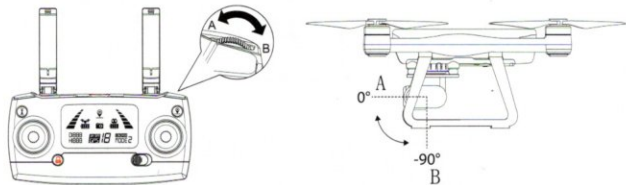


離陸

着陸

送信機機能紹介

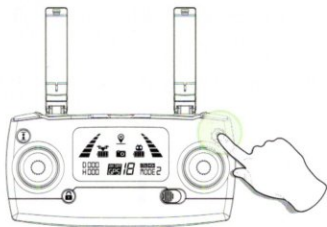
1. カメラ角度調整方法



フライト中、送信機の右上のカメラ角度調整ダイヤルを使ってカメラ角度を調整します。ダイヤルをA方向へスライドすると、カメラ角度をA方向へ移動します。ダイヤルをB方向へスライドすると、カメラ角度をB方向へ移動します（調整角度： -90° ~ 0° ）。

2. リターンモード

リターンモードとは機体は離陸または飛行中、GPS信号が初めて衛星7個以上を受信したときの場所に戻るモードのことです。そして、リターンモードにはスマートリターンモードと低電圧リターンモード、フェイルセーフリターンモードがあります。



1) スマートリターンモード

強いGPS信号の受信中（衛星7個以上）、送信機のリターンモードボタンを押すと、機体はスマートリターンモードに移行し、記録されたリターン場所に戻ります。リターン場所とは離陸または飛行中、GPS信号が初めて衛星7個以上を受信したときの場所です。また、もう一度そのボタンあるいはスロットルスティックを押すと、リターンモードが停止します（方向スティックを押すと、機体はリターン続けます）。

2) フェイルセーフリターンモード

強いGPS信号の受信中（衛星7個以上）、コンパスが正常に作動出来、機体はリターン場所を記録成功出来た場合、もし機体と送信機のペアリングが6秒以上切れた場合、機体は自動でフェイルセーフリターンモードに移行し、記録されたリターン場所へ移動を開始します。また、帰還中、送信機とペアリングが回復しても、機体はリターンモードを続けます。リターンボタンあるいはスロットルスティックを押すと、リターンモードから抜いて、機体を操縦することが可能です。

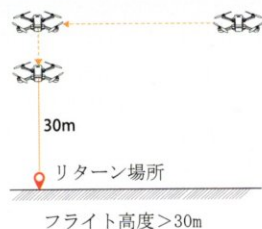
注意：

1. 自動リターンの過程中、機体は障害物を避ける機能がつきません。
2. GPS信号が弱いあるいはGPS機能が正常に作動できない場合、リターンできません。
3. 機体がGPS信号を受信出来ない状態で、送信機とのペアリングが6秒以上切れた場合、機体はリターン出来ないで、ゆっくり着陸し、ロックされます。

3) 低電圧リターンモード

機体のLEDがゆっくり点滅し、送信機の液晶ディスプレイに機体バッテリー残量アイコンが「」と表示された場合、機体は第一段階のリターンモードに移行します（機体は高度30m、距離100m以内でフライト可能）。

a. 機体のフライト高度は30m以上の
場合、機体は記録されたリター
ン場所の上空へフライトし、リタ
ーン場所まで30mの高さのところ
へ下降し、ホバリングします。そ
して、リターンモードから解除し
ます。



b. 機体のフライト高度は30m以内
の場合、機体は30mの高さへ上昇
し、記録されたリターン場所の上
空30mの高さのところへフライト
し、ホバリングします。そして、
リターンモードから解除します。



機尾のLEDが速く点滅し、送信機の液晶ディスプレイに機体バッテ
リー残量アイコンが「」と表示され、しかも「デイ、デイ、
デイ、…」と鳴る場合、機体は第二段階のリターンモードに移行し
ます。

a. 機体の飛行距離は15m以上の場
合、機体は記録されたリターン場
所の上空15mの高さのところへフ
ライトし、下降します。



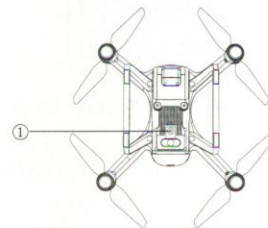
b. 機体のフライト高度は15m以内の
場合、機体は15mの高さへ上昇し、
記録されたリターン場所の上空15m
の高さのところへフライトし、下
降します。



注意：低電圧リターンモードの場合、リターンをキャンセルする
ことができません。

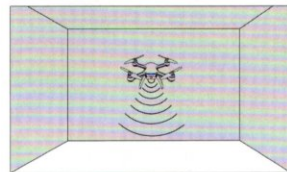
3. オプティカルフローポジショニング機能

オプティカルフローポジショ
ニングシステムは部位 ① から構成
します。オプティカルフローモー
ドで、機体を安定にフライトさせ
ることができます。



オプティカルフローポジショ
ニング機能は高度3m以下でのみ適用
可能です。GPSモードオフあるいは
GPS信号弱い場所で、特に室内
操作での使用をおすすめします。

暗すぎる場所で、オプティカル
フローポジショニング機能が正常
作動できるため、送信機の右上の
ランプボタンを押して、ランプが
点灯してください。



注意：オプティカルフローポジショニング機能は周囲の明るさ、地面の模様に影響されます。

以下の場所で操作する場合にはご注意ください。

- ①飛行高度0.5メートル以下、高速に飛行する場合、オプティカルフローポジショニングシステムは不安定になる恐れがあります。
- ②無地な地面（例えばピュアブラック、ピュアホワイト、ピュアレッド、ピュアグリーン）。
- ③強い反射光線と斜面。
- ④水と透明物の表面。
- ⑤流れた表面（例えば人の流れの上、風に吹かれた草、やぶ、茂みの上）。
- ⑥光線が速い明滅する場所。
- ⑦暗すぎる場所。
- ⑧模様がまばらな表面。
- ⑨模様の繰り返し性が高い表面（例えば同じ色の小さな市松模様のレンガなど）。
- ⑩傾斜度が 30° 以上である区域。
- ⑪フライトスピードについて、飛行高度1mの場合、5m/s以内になしてください。飛行高度2mの場合、10m/s以内になしてください。
- ⑫オプティカルフローポジショニングシステムのカメラのレンズのカビや汚れ等を清掃する。
- ⑬オプティカルフローポジショニング機能は高度3m以下でのみ適用可能です。

Wi-Fiカメラの使い方

1. 専用アプリをインストールする

お手持ちのスマホに専用のアプリ「Ophelia Go」をインストールします。

下記のQRコードから、またはAppStore/GooglePlayから「Ophelia Go」を検索し、ダウンロードとインストールを行ってください。



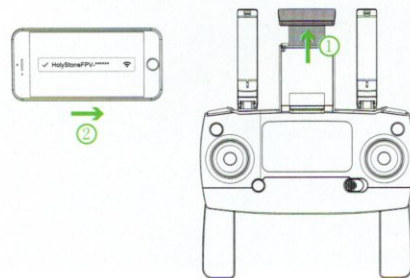
iOS



Google Play

AppStore/GooglePlayから「Ophelia Go」をダウンロードする場合は、無料です。どうぞご安心ください。

2. Wi-Fiリモート設定（ペアリング）



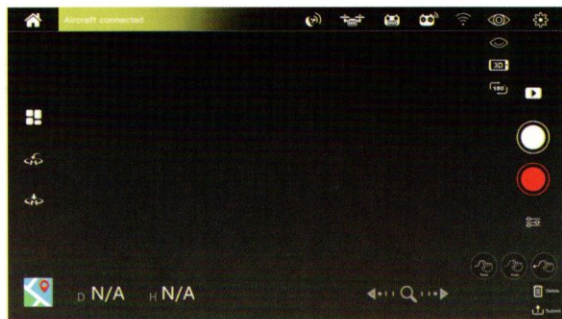
機体と送信機をペアリング完了後、スマートフォンのWi-Fi設定画面を表示し、「HolyStoneEIS-*****」を選んで接続します。また、「Ophelia Go」アプリを立ち上げ、モニターにカメラの映像が表示されていれば接続完了です。

注意：

1. アンドロイドの場合、アンチウイルスソフトウェアを利用している場合、しばらく閉めてください。
2. アンドロイドの場合、モニターにカメラの映像が表示されない場合、スマホの [設定] アイコンをタップし、モバイルデータ通信をオフにします（あるいは、機内モードにします）。その後、スマホで機体Wi-Fiと接続してください。
3. 「Ophelia Go」アプリが正常に作動できない場合、スマホの設定に移行し、そのアプリをタップし、次に、「ワイヤレスデータ」をタップして、「WLANとモバイルデータ通信」を選んでください。

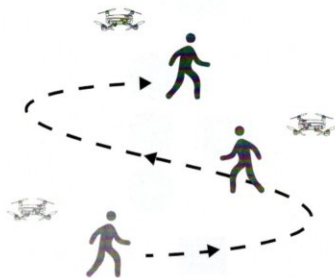
アプリ機能紹介

1. 操作画面説明



	ホームページ		設定		録画
	GPS補足数		<ul style="list-style-type: none"> フォローミーモード ホバリングモード ヘッドレスモード 		カメラ設定
	機体バッテリー残量				ウェイポイントモード
	送信機バッテリー残量				削除
	操縦信号強度		リターンモード		アップロード
	映像転送信号強度		ワンキー離陸/着陸		距離(m)
			撮影データ		高度(m)
		3D 画面		写真	
		画面反転			

2. フォローミーモード



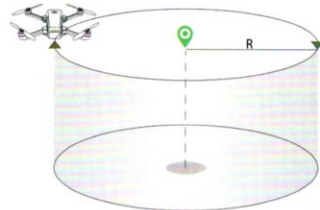
フォローミーモードを有効にした時の高度と、操縦者までの距離を保ちながら追跡を行います。




- ①機体と操縦者の距離を5-30m離してください。
- ②アプリの「」アイコンをタップし、次に「」アイコンをタップすると、提示語に従って、フォローミーモードに移行します。また、もう一度「」アイコンをタップすると、フォローミーモードが解除されます。






- ①機体と操縦者の距離が5-30m以外の場合、フォローミーモードは無効となります。
- ②強いGPS信号の受信(衛星7個以上)のみ、フォローミーモードは有効となります。
- ③飛行エリアは広い屋外で、高い建物やその他の障害物の無いところが理想です。

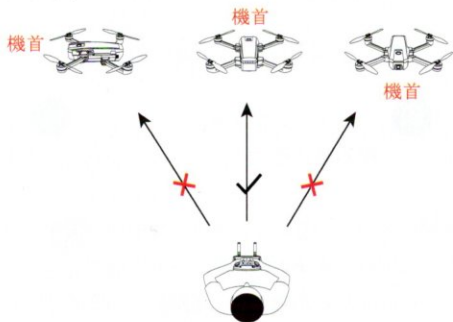
3. ホバリングモード



- ①アプリの「」アイコンをタップし、次に「」アイコンをタップすると、提示語に従って、ホバリングモードに移行します。
- ②機体はカメラが向いているポイントまでの距離を半径とし、そのポイントを中心に向けたままの旋回飛行を行います。デフォルトポイントはカメラの位置から距離5mの場所です(設定可能半径:5~50m)。
- ③また、もう一度「」アイコンをタップすると、ホバリングモードが解除されます。

4. ヘッドレスモード

- ①アプリの「」アイコンをタップし、次に「」アイコンをタップすると、提示語に従って、ヘッドレスモードに移行します。
- ②もう一度「」アイコンをタップすると、ヘッドレスモードが解除されます。






機体の向きに関係なく前後左右が固定され、通常の方法とは異なり、機体はどこを向いていてもエルロンスティックを左右に動かすと機体が左右に動き、エレベータスティックを前後に動かすと、機体が前後に動くようになります。



注意：機体が離陸するとき機首の向く方向が前方と指定されます。


5. ウェイポイントモード



まず、マップをタップし、次に「」アイコンをタップすると、提示語に従って、ウェイポイントモードに移行します。

モード1：「」アイコンをタップして、操縦者は地図上の飛行させたいエリアを指で描きます。次に、「 Submit」アイコンをタップ後、機体は地図上で指定した航路を、入力された条件を基に自動飛行します。

モード2：「」アイコンをタップすると、操縦者は地図上の飛行させたいエリアを指でなぞります。次に、「 Submit」アイコンをタップ後、機体は地図上で指定したポイントを、入力された条件を基に自動飛行します。




また、もう一度「」アイコンをタップすると、ウェイポイントモードが解除されます。

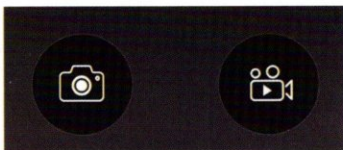
もし、データ送信に失敗した場合、もう一度送信あるいはキャンセルを選択することができます。



- ①人、動物、木、電線などを避けてください。
- ②操縦者が設定した航路は実際のフライト航路と誤差がある恐れがあります。

6. 写真・録画

- ① 「」アイコンをタップすると、写真を撮ります。
- ② 「」アイコンを一回タップする、録画が始まります。また、もう一度そのアイコンをタップすると、録画が完了です。
- ③ 「」アイコンをタップすると、撮影データを見ることができます。



- ④SDカードを装着していない場合、撮影した写真と動画はアプリに保存されます。加えてスマホのアルバムにも保存しています。
- ⑤SDカードを装着している場合、撮影した写真と動画はSDカードとアプリに保存しています。



アプリ側でSDカードの撮影データを確認したい場合、スマホで機体のWiFiを繋ぐ必要があります。

機体LEDの状態変化説明

機体LED状態	説明
 前後黄LEDが速く点滅している	機体と送信機がペアリング成功できなかった
 前後黄/赤/緑LEDが相互に点滅している	機体が初期検査を行っている
 前赤LEDは点灯し、後黄LEDは点灯している	GPS信号が検索できないあるいはGPS信号が弱い
 前赤LEDは点灯し、後緑LEDは点灯している	GPS信号が強い
 前後緑LEDが相互に点滅している	コンパスリセット完了
 前赤LEDは点灯し、後赤LEDはゆっくり点滅している	機体は第一段階の低電力ターンモードに移行する
 前赤LEDは点灯し、後赤LEDは速く点滅している	機体は第二段階の低電力ターンモードに移行する

製品基本情報について

● 機体

型番：HS700E

重量：557g(バッテリー1個含め)

飛行時間：約21分

操作環境の気温：0℃~40℃

サイズ：380*230*125mm

● 機体のバッテリー

容量：2800mAh

電圧：7.4V

種類：LiPoバッテリー

電量：20.72Wh

充電時間：約5h

充電温度：5℃~40℃

● 送信機

使用周波数帯：2.4GHz帯

最大な可能操作距離：300m (障害物なし、信号障害なし)

電池：単三乾電池*2

操作環境の気温：0℃~40℃

● カメラ

使用周波数帯：2.4GHz帯

画素数：写真 3840*2160p (SD側)、1920*1080p (アプリ側)

動画 3840*2160p (SD側)、1280*720P (アプリ側)

Wi-Fiのリアルタイム距離：100m (信号障害なし)

カメラ角度調整：-90° ~0°

写真形式：JPEG

映像形式：AVI/MP4

操作温度：0℃~40℃

SDカード：容量最大128G

● USB充電線

電圧：5V

輸出電圧：≤10W

よくある質問

1. スマートリターンモードについて

Q：機首の向いている方向や、どの方向に飛んでいるかに関係なく最初離陸した位置に戻りますか？

A：はい、そうです。具体的には本書の「送信機機能紹介」の「スマートリターンモード」の紹介をご参照ください。

2. 低電圧リターンモードについて

Q：機首の向いている方向や、どの方向に飛んでいるかに関係なく最初離陸した位置に戻りますか？

A：はい、そうです。具体的には本書の「送信機機能紹介」の「低電圧リターンモード」の紹介をご参照ください。

3. フェイルセーフリターンモードについて

Q：機首の向いている方向や、どの方向に飛んでいるかに関係なく最初離陸した位置に戻りますか？

A：はい、そうです。具体的には本書の「送信機機能紹介」の「フェイルセーフリターンモード」の紹介をご参照ください。

4. Q：機体が墜落・接触などによって反応しなくなった。

A1：一旦機体からバッテリーを外し、再度バッテリーをつなぎ直してみてください。

A2：機体の受信機は精密機器ですので、強い衝撃を受けると破損する場合があります。

5. Q：HS700Eは室内でも使えますか？

A：はい、GPSモードをオフにすると、室内でも使えます。幅広く障害物の少ない場所を選んでください。

6. Q：修理・調整を行ってもらえますか？

A：ご使用後の製品の破損などによる修理依頼はメールにてご連絡くださいれば、対応をいたします。また、状況により、部品を有償（割引券を提供し）・無償にて提供いたします。

ヒント：上記以外にご質問や、万一不具合が御座いましたらお気軽にお問い合わせ下さい。誠心誠意の対応を御約束致します。

製品サポートについて

1) 保証・修理規定

初期不良品につきましてはお手数ではございますが、メールにて弊社にご相談ください。ご質問について、弊店は必ず適切な対応をさせていただきます。どうぞご安心ください。

ご使用後の製品の破損などによる修理依頼はメールにてご連絡くださいれば、対応をいたします。また、状況により、部品を有償（割引券を提供し）・無償にて提供いたします。

2) お問い合わせ先(日本語対応可)

メールアドレス：jp@holystone.com

Facebook：<https://www.facebook.com/HolyStoneToys/>

TEL：1(国番号)-8558886699(アメリカの電話番号)

電話受付：月曜日～日曜日(旧正月の休みを除く)

受付時間：日本時間 午前：9時30分～12時30分

午後：2時30分～6時30分

※時間帯により電話は混雑している可能性があるため、メールのご利用をお薦めします。

メーカー情報

1. メーカー

Holy Stoneの各製品ならびにロゴは、Zhangzhou Beiqu Trading CO., LTD. 株式会社の商標です。

Holy StoneならびにHoly Stoneのロゴは、Zhangzhou Beiqu Trading CO., LTD. 株式会社に帰属します。

App Storeは、Apple Inc. のサービスメーカーです。

Google Playは、Goole Inc. の商標です。

本書に記載されたその他のメーカーは、それぞれの所有主に帰属します。

2. 製造元情報

Holy Stone HS700E 製造元 : Xiamen Huoshiquan Import&Export CO., LTD Room 703, No. 813-2

Xiahe Road, Siming District, XIAMEN, (China)

www.holystone.com